

西京みどりのカーテン100枚プロジェクト



～Q & A集～



- Q 1 : 撒いた肥料にカビが生まれました。
- Q 2 : 苗の枝をもう少し横に広げたいです。軸を切れれば横に新芽が出てきますか。
- Q 3 : ネットに強く結びすぎて茎が折れてしまいました。その後も成長して葉も枯れてはいませんが、ハサミで切った方がいいですか。
- Q 4 : 初めて咲いた雄花と雌花を人工受粉してみたら実がなりました。このまま実を育てていいのでしょうか。
- Q 5 : ツルが伸びるのが遅いように感じます。花は下の方で咲いており、小さい実もできています。
- Q 6 : 花の成長が悪いです。
- Q 7 : ゴーヤの葉っぱが全体的に小さく元気がありません。下の方は黄色くなっています。
- Q 8 : 数日間出かける予定があり、その間の水遣りが出来ません。
- Q 9 : 葉に黄色の斑点が見られるようになりました。付近にはカメムシ、テントウムシ、アリがいます。虫害でしょうか。薬の効果は期待できますか。
- Q10 : ゴーヤの実は、どれくらいの大きさになれば成熟ですか。
- Q11 : カメムシを見つけました。カメムシはこの時期（7月下旬）に発生して、ゴーヤ類に飛来するものですか。
- Q12 : 実が増えてきたら肥料は増やした方が良いですか。
- Q13 : 暑くなってきたら日中葉っぱがぐったりしています。日中は水やりを避けた方が良いですか。また、水は根元だけにやり、葉っぱにはかけないものですか。
- Q14 : ツルの高さがベランダの屋根に届く2m70cmまで伸びました。これ以上伸びたら先は切った方がよいですか。
- Q15 : 雄花は2、3個咲きましたが、雌花は咲かず実がなりそうにありません。
- Q16 : 数日前から葉が枯れだしました。水分、肥料はしっかりしているつもりですが、葉に茶黒のようなシミが出てきて、先端にいくほど枯れています。
- Q17 : ゴーヤの葉の茂り具合にムラがあります。日当たりの悪い方が茂っていて、西日のよく当たる左側がスカスカな感じです。
- Q18 : 実が2センチ位の大きさのまま、茎から黄色く枯れたようになってしまいます。
- Q19 : 全体的に思ったほど葉が茂っていません。カーテンとしての厚みが足りません。
- Q20 : 実から採れた種は発芽しますか。
- Q21 : 種はいつごろ、どのように植えたらいですか。
- Q22 : ゴーヤの実の色が薄いまま中身が赤く熟していました。なぜ濃い緑色にならなかったのでしょうか。
- Q23 : ネットの表側と裏側とでは実の生育は違うのでしょうか。陰にならない場所の方がいいのでしょうか。
- Q24 : きゅうりは収穫の終盤になってくると曲がったものが増えるというのを聞きましたが、ゴーヤも同じですか。
- Q25 : 9月に入ってから実が大きく育たなくなりました。

Q 1：撒いた肥料にカビが生まれました。

カビがひどい部分は捨てて、表面の土を乾燥させてください。湿気過多が原因かもしれません。しばらく雨の当たらない場所に移動させてください。雨の多い時期、水は少なめに与えてください。[TOPへ](#)

Q 2：苗の枝をもう少し横に広げたいです。軸を切れば横に新芽が出てきますか。

切っても大丈夫ですが、横枝の様子をもう少し見てみましょう。
ただし、表面の土と葉が接触している場合は、病気の原因になりやすいため、その葉を切り取ってください。[TOPへ](#)

Q 3：ネットに強く結びすぎて茎が折れてしまいました。その後も成長して葉も枯れてはいませんが、ハサミで切った方がいいですか。

葉の先がしおれなければ大丈夫です。しおれてきたら切ってください。[TOPへ](#)

Q 4：初めて咲いた雄花と雌花を人工受粉してみたら実がなりました。このまま実を育てていいですか。

このままでも良いですが、約1.5m～2.0mの高さまで成長してから実をつける方が良いでしょう。[TOPへ](#)

Q 5：ツルが伸びるのが遅いように感じます。花は下の方で咲いており、小さい実もついています。

追肥が必要です。苗のうちは、だいたい3週間をめに、葉っぱの色を見ながらやってください。また、肥料は表面に撒くのではなく、軽く混ぜ込んでください。その際、茎や葉っぱに付着しないように注意してください。ゴーヤを大きく育てるためには肥料が多めに必要です。肥料切れにならないようにしてください。[TOPへ](#)

Q 6：花の成長が悪いです。

初期の花にはまだ不完全なものが有りますので、心配ありません。[TOPへ](#)

Q 7：ゴーヤの葉っぱが全体的に小さく元気がありません。下の方は黄色くなっています。

根腐れ、肥料不足、虫害の3点が考えられます。

①根腐れ状態の場合

雨が多く多湿になり、根腐れ状態になっていませんか。乾燥状態であれば水をやるとすぐ回復します。しかし加湿状態の土に水をやると、だんだん弱ってきます。かなり弱ってくると、茎を引っ張れば簡単に抜けてしまいます。しっかり白い根が張っていると、簡単に引き抜くことができません。根が黒く変色し、伸びていない状態はダメです。根腐れの対処法としては、弱っている根を洗って乾燥した土へ移動させて様子を見るか、根の周りの土を掘って穴を作り、乾燥させるようにしてください。

②肥料不足の場合

肥料不足であれば、粒剤の肥料は1週間から10日してからききめが出てきますので、追肥後に観察して様子を見てください。ただし、根が弱っている時に肥料を多くすると逆効果です。まずは土を乾燥させてください。

③虫害の場合

葉っぱの裏側に虫類がいないか確認してください。なるべく薬は使いたくないので、



葉っぱは多少摘み取っても大丈夫です。どうしても止まらない時は薬剤散布が必要ですが、葉っぱの表裏にたっぷり水をかけて洗い流すのも効果があります。 [TOPへ](#)

Q 8：数日間出かける予定があり、その間の水遣りが出来ません。

土の乾燥を防ぎ、直射日光による表面温度の上昇を防ぐ必要があります。

①土の乾燥を防ぐ。

表面に敷きワラ（新聞紙などでも構いません）を敷いてください。ワラはホームセンターで入手できます。

②直射日光による表面温度の上昇を防ぐ。

出かける前にたっぷり水をやった後、ペットボトルに水を入れて蓋に小さな穴を開け、逆さまに突き立ててください。点滴状態でも効果はあります。 [TOPへ](#)

Q 9：葉に黄色の斑点が見られるようになりました。付近にはカメムシ、テントウムシ、アリがいます。虫害でしょうか。薬の効果は期待できますか。

虫害であると思われます。変色した葉は除去してください。

カメムシは葉っぱの養分を吸い取ります。葉っぱの斑点はその影響です。必ずまめに捕殺・除去してください。また、てんとう虫はアブラムシを食べてくれます。てんとう虫もアリも気にしないでください。ただ、「てんとう虫モドキ」は食害が激しいので注意してください。「てんとう虫モドキ」はてんとう虫に似ており、茶色っぽい姿をしています。捕殺が追いつかないほど大量発生したときには、薬剤を考えてください。その際、まずは忌避剤から始めてください。品名は数が多いので指示できません。お店に相談してください。 [TOPへ](#)

Q10：ゴーヤの実は、どれくらいの大きさになれば成熟ですか。

大きさは目安ではありません。表面のツブツブが濃い緑の時に収穫してください。色が浅く黄色っぽくなれば、完熟です。食べるのは早い目の収穫がベストです。 [TOPへ](#)

Q11：カメムシを見つけました。カメムシはこの時期（7月下旬）に発生して、ゴーヤ類に飛来するものですか。

カメムシはやってきますが、大量発生していない場合は、薬を使うのではなく、捕殺してください。葉っぱの裏側によくいますので観察してください。 [TOPへ](#)

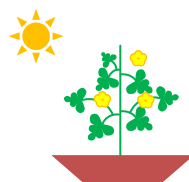
Q12：実が増えてきたら肥料は増やした方が良いですか。

大きな実が沢山できますので、肥料は多く必要です。ツルが伸びて実も太るこの時期（7月中旬）は、10日に一度追肥してください。 [TOPへ](#)

Q13：暑くなってきたら日中葉っぱがぐったりしています。日中は水やりを避けた方が良いですか。また、水は根元だけにやり、葉っぱにはかけないものですか。

直射日光のきつい日は、さすがにぐったりしますが、夕方には戻ります。暑いときは、土に水をやると、土の中が蒸れますので、葉っぱに水をかけて洗い流す感じでやってください。汚れや害虫を洗い流し、涼しくもなりますのでオススメです。裏側もやってください。

真夏の暑い日は、朝と夕方の2回水をやってもいいです。ただし水のやりすぎは厳禁です。あと、追肥を忘れずに。葉っぱの色、大きさ、実の色をよく観察しながら、水やり、追肥をしてください。4本の中でも一本一本の微妙な変化を見逃さないように観察してください。 [TOPへ](#)



Q14：ツルの高さがベランダの屋根に届く2m70cmまで伸びました。これ以上伸びたら先は切った方がよいですか。

先は絡みつく場所があれば伸びてゆきますので、切ってください。あまり伸ばしすぎると根元が寂しくなります。[TOPへ](#)

Q15：雄花は2、3個咲きましたが、雌花は咲かず実がなりそうにありません。

葉っぱの緑が浅い、葉っぱが小さく元気がない時は追肥してください。葉っぱが濃い緑になり、大きくプリプリしてくれば、夏本番の今から、花、実ともに沢山付くことが期待できます。追肥は、一度にたくさんやらないでください。様子を見ながら10日に一度追肥してください。早く効かせたい時は、液肥を使用してから、粒状のものに変えて行きましょう。[TOPへ](#)

Q16：数日前から葉が枯れだしました。水分、肥料はしっかりしているつもりですが、葉に茶黒のようなシミが出てきて、先端にいくほど枯れています。

まず、傷んでいる葉は除去してください。葉の色が薄いようですので、追肥を行ってください。日照りが続くと土が乾燥するので、固形の肥料は浸透しにくくなります。水のやりすぎも良くありませんので、即効性のある液肥を使い、固形の肥料と併用してください。肥料は一度に沢山やるのではなく、様子を見ながら追肥してください。また、虫害のおそれもありますので、葉の裏を観察して、カメムシやテントウムシモドキがいらないか注意してください。[TOPへ](#)

Q17：ゴーヤの葉の茂り具合にムラがあります。日当たりの悪い方が茂っていて、西日のよく当たる左側がスカスカな感じです。

西日がよく当たって、その部分だけ乾燥していませんか。葉の少ないツルの根元に重点的に追肥してください。[TOPへ](#)

Q18：雌花が咲いた後、実が2センチ位の大きさのまま、茎から黄色く枯れたようになってしまいます。

肥料と水の不足ではないでしょうか。黄色くなったモノは取り除いてください。この季節（7月下旬～8月上旬）は非常に成長する時期です。肥料、水分共に不足がちになりますので注意してください。[TOPへ](#)

Q19：全体的に思ったほど葉が茂っていません。カーテンとしての厚みが足りません。

肥料がよく効いているかは、4本植えてある苗を1本1本よく観察する事が大切です。葉っぱの色は、濃い緑で、大きくプリプリして元気がありますか？朝に観察するのがいいでしょう。あまり先が伸びすぎると、養分をとられて下の葉っぱが黄色くなって落ちてしまいますので、ほどほどの高さに切り取ってください。日差しが強い時期ですので、水切れに注意してください。肥料不足と思われたら、即効性のある市販の液肥を試してください。[TOPへ](#)

～次のページに続きます～



Q20：実から採れた種は発芽しますか。

発芽する種としない種があります。まず、実を割ってから中ワタにある種を洗い、周りの赤い部分を落とします。次に、乾燥させて涼暗所で保存してください。このとき、大粒のふっくらした種だけを残すようにしてください。また、乾燥させたあとに爪を立ててみて、割れてしまうモノはダメです。 [TOPへ](#)

Q21：種はいつごろ、どのように植えたらいいですか。

来年の4月～5月に播種（はしゅ）すればOKです。温度25度が発芽適温です。10日程度で発芽しますが、低温では中々発芽しませんのでご注意ください。

※まちづくり推進担当からの補足：発芽を促すために、種の尖った方を爪切りなどで少しカットしたあと、水で湿らせた脱脂綿に浸しておくといいみたいです。 [TOPへ](#)

Q22：ゴーヤの実の色が薄いまま中身が赤く熟していました。なぜ濃い緑色にならなかったのでしょうか。

肥料不足のためと、終盤になり根が詰まってゴーヤが衰えて来るため、この症状が出ます。あとは日当たりです。葉っぱの数が多すぎて陰になっていませんか。 [TOPへ](#)

Q23：ネットの表側と裏側とでは実の生育は違うのでしょうか。陰にならない場所の方がいいのでしょうか。

温度と日照時間が関係してきますので、良く日に当たるように工夫してください。特に終盤は葉が茂ってきて日当たりにムラができますので、余分な葉っぱはカットするようにしてください。 [TOPへ](#)

Q24：きゅうりは収穫の終盤になってくると曲がったものが増えると言いましたが、ゴーヤも同じですか。

同じです。9月中頃までが生産時期です。終盤は、伸びすぎた弦のカット、多過ぎる葉っぱもカットし日当たりの良い状態にしてください。最後の追肥も忘れずに。 [TOPへ](#)

Q25：9月に入ってから実が大きく育たなくなりました。

9月になるとゴーヤは終盤にさしかかります。プランターの中には根が詰まり、これまでのような成長ぶりは見られなくなります。 [TOPへ](#)

